

『夏休み愛知用水探検ツアー』

水土里ネット愛知用水

平成30年7月26日（木）、東郷町の親子23名を対象に、水源地である牧尾ダムを訪問する「愛知用水探検ツアー」を実施しました。「愛知池の水がどこから来るのか」をテーマに、水源地に感謝するとともに愛知用水を身近に感じてもらうことを目的として行いました。

一行は、バスに揺られ、途中バス車内でのクイズを行い、木曽川の流れを車窓から眺めながら長野県王滝村にある松原スポーツ公園に到着しました。

松原スポーツ公園では、王滝村役場村集落支援員立花氏より村の説明や長野西部地震により牧尾ダムへ堆積した土砂を松原スポーツ公園に活用している話をして頂きました。

その後、王滝村職員の指導のもとどんぐりの棒パン焼き体験をし、各々パン生地をのばし、棒に巻き付けて炭火で焼きました。親子で協力して、棒パンが焦げないようきつね色に焼き、おいしく頂いていました。

牧尾ダムでは、水資源機構の職員より牧尾ダムの説明を受けました。子供達は写真をとったりしながら、真剣に話を聞いて、見たこともないような施設には興味津々に見入っている様子でした。

子供達が楽しみにしていたボート巡視体験は、先日の豪雨の影響で流木が湖内に大量に流れ込んだため中止になり、白樺のコースター作りを行いました。

帰りのバスではビンゴ大会をおこない、景品をプレゼントしたところ嬉しそうに受け取っていました。

ツアー終了後には、参加者にアンケートを実施したところ、全員より「今日の企画は楽しかった」との感想を頂き、今後も愛知用水について親子で学べる機会を作り、水土里ネット愛知用水をPRしていけたらと思います。



王滝村の説明



牧尾ダムの説明



コースター作り



記念撮影